



機械器具 72 視力補正用レンズ
高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000
(再使用可能な非視力補正用色付コンタクトレンズ 47837000)
(ソフトコンタクトレンズ)

2WEEK メニコン Rei / 2WEEK メニコン Rei (トーリック)

【警告】

1. コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2. 上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は、次のことを守ってください。

(1) 装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。

(2) 使用期間を守ること

このレンズは使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えないこと、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。

(3) 取扱方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱方法で使用してください。

(4) 定期検査を受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5) 異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズ装用前に眼や充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら、眼科を受診してください。

(6) 破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者): 次の人は使用しないこと

- ・前眼部の急性及び亜急性炎症
- ・眼感染症
- ・ぶどう膜炎
- ・角膜知覚低下
- ・レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
- ・眼瞼異常
- ・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- ・常時、乾燥した生活環境にいる人
- ・粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
- ・眼科医の指示に従うことができない人
- ・レンズを適切に使用できない人
- ・定期検査を受けられない人
- ・レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人

**2. 使用方法

自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

3. 併用医療機器

MRI検査を受ける際にはレンズをはずすこと

【形状・構造及び原理等】

**1. レンズの組成

- (1) ソフトコンタクトレンズ分類: グループII
- (2) 構成モノマー: N, N-ジメチルアクリルアミド、N-ビニルピロリドン、アルキルメタクリレート系化合物、エチレングリコールジメタクリレート
- (3) 含水率: 72%
- (4) 酸素透過係数: $34 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{mmHg}))$
ISO18369-4に準拠
- (5) 着色剤: フタロシアニン系着色剤、金属酸化物系着色剤
着色剤が角膜側に存在しており、ポリマー層によりレンズ内に包埋されている。
- (6) レンズカラー: ブラック又はブラウン

2. 保存液

保存液の主成分: 塩化ナトリウム

3. 原理

- (1) 視力補正用レンズ(標準レンズ及び乱視用レンズ)の場合
コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及び/又は円柱屈折力により視力を補正します。
また、レンズに施した虹彩状の着色により虹彩又は瞳孔の外観を変えます。
- (2) 非視力補正用レンズの場合
レンズに施した虹彩状の着色により虹彩又は瞳孔の外観を変えます。

【使用目的又は効果】

- (1) 視力補正用レンズ(標準レンズ及び乱視用レンズ)の場合
視力補正及び装用時に虹彩又は瞳孔の外観を変えます。
- (2) 非視力補正用レンズの場合
装用時に虹彩又は瞳孔の外観を変えます。

【使用方法等】

終日装用、2週間交換、化学消毒

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. レンズ着脱

** (1) レンズ取扱いの注意事項

- ・爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
- ・レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。

** (2) レンズの取り出し方

- ・開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
- ・レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
- ・装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。

(3) レンズのつけ方

- 1) 人さし指の先にレンズをのせます。
乱視用レンズの場合、ガイドマークが黒眼の上で下方になるようレンズをのめます。
- 2) 鏡を見ながら、もう一方の手の親指と人さし指で眼を大きくあけます。
- 3) レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上でそっとのせます。
- 4) レンズを黒眼にのせたら、眼をあげていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。
- 5) 左右の見え方で、入れ違いがないかを確認してください。

(4) レンズのはずし方

- 1) いつも同じ眼からレンズをはずすようにします。
- 2) 中指で下まぶたを引き上げます。
- 3) そのままの状態親指と人さし指でレンズの下方をつまみはずします。

2. 装用スケジュール

- (1) このレンズは最長2週間で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にははずしてください。
- (2) レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

[スケジュール例]

装用日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目以降
装用時間	8時間	10時間	12時間	14時間	16時間	終日装用

- (3) 装用を中断した場合
 - ・ 1カ月未満の中断：中断する前と同じ装用時間で装用を開始します。
 - ・ 1カ月以上の中断：眼科医の検査を受けてから、指示に従って装用を開始します。

3. レンズケア

ソフトコンタクトレンズは装用後の洗浄と消毒が不可欠です。レンズ装用前にすすぎをすることをお勧めします。注意事項として、以下のことを守ってください。

- (1) ケア用品の使用に際しては、使用するケア用品の使用説明書や表示事項を読み、以下のことを守ってください。
 - ・ このレンズに推奨する化学消毒システム、エピカールドシリーズ（エピカールド、エピカールドアクアモア）による洗浄・すすぎ・消毒・保存が必要です。
 - ・ レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
 - ・ エピカールドシリーズを数滴つけてレンズの両面を各々、20～30回指で軽くこすりながら洗った後、レンズの両面をエピカールドシリーズでよくすすいでください。
 - ・ 開封後のエピカールドシリーズは、1カ月を目安に使用してください。
 - ・ 使用後のエピカールドシリーズは、再利用しないでください。
 - ・ エピカールドシリーズは他の容器に入れ替えないでください。
 - (2) レンズの汚れやすさには個人差があります。眼科医の指導に従いタンパク除去を行ってください。
- 注意) このレンズは煮沸消毒できません。

4. レンズケースの管理方法

- ・ レンズケースは定期的に新しいものと交換してください。
- ・ 使用後のレンズケースはエピカールドシリーズで洗った後、液をよくきって、本体とキャップを伏せて清潔な場所で自然乾燥させてください。

5. 定期検査

レンズ装用開始日から1週間後、1カ月後、3カ月後、以降3カ月毎に、又は眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ** (1) レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。添付文書はホームページ内でもご覧になれます。www.menicon.co.jp
- (2) アレルギー疾患（金属アレルギー等素材に対するアレルギーを含む）を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。

** 2. 不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

- (1) 不具合
 - レンズ：欠け、破れ、キズ、変形、変色、異物付着
 - 保存液及び容器：液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ
- (2) 有害事象
 - 角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイニング等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

< 装用時の症状と対処方法 >

- ・ 眼の調子や体調が悪い場合は、無理に使用しないでください。
- ・ レンズの使用中、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試しください。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。

症状	対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、眼ヤニが多く出る、充血	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンズを確認し、キズや破損がある場合は、新しいレンズに交換する。 ・ 汚れがある場合は、レンズのこすり洗い、すすぎを行う。 ・ 装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
視力不安定、見えにくい、目の疲れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンズの左右、裏表を確認し、レンズを正しく入れ直す。 ・ 装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
乾燥感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数回まばたきをして涙を多く出す。 ・ ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。

3. 高齢者への適用

高齢者で、自身でのレンズのつけはずしやレンズケア等ができない場合、家族の方等で補助してください。

4. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- ** (1) 薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠、出産された方は、レンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2) 小児にレンズを使用させる場合は、保護者の方等による指導監督のもとに使用してください。

** 5. その他の注意

- (1) レンズ紛失時及び装用中止時の対応として、予備レンズを携帯し、眼鏡と併用してください。
- (2) 化粧はレンズをつけてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- (3) レンズを取扱うときは、化粧品等がレンズにつかないようにしてください。
- (4) 装用中に使用する目薬は、防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液をおすすめします。それ以外の目薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
- (5) 水泳の際はレンズをはずしてください。
- (6) 乱視用レンズの場合、上下を逆に装用すると、見え方や装用感が悪くなる場合があります。
- (7) このレンズは煮沸消毒できません。
- (8) レンズの着色部分によって、光の量が減少し、見えにくく感じることがあります。また、視野周辺部に違和感を覚えることがあります。これらはレンズ装用に慣れるに従い軽減されますが、長引く場合は眼科医に相談してください。
- (9) レンズの装用により、暗い場所では見えにくいことがあります。暗い場所での車の運転や機械の操作は、特に注意してください。
- (10) 激しいスポーツ等では、レンズがずれて、視界を妨げることがあります。
- (11) 海外渡航をされる場合には必要量のレンズや眼鏡を持参してください。長期間の渡航の場合には現地の医療機関を受診してください。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 保管方法：直射日光及び凍結を避け、室温で保管してください。
- (2) 使用期限：レンズの使用期限は、レンズの外箱と容器本体に記載されています。使用期限を過ぎたレンズは使用しないでください。
(YYYY-MM=使用期限YYYY年MM月)
- (3) 使用期間：容器開封から2週間を超えたレンズは装用回数、日数にかかわらず装用しないようにしてください。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 消毒の方法：化学消毒
- (2) レンズケア：「<使用方法等に関連する使用上の注意>3. レンズケア」の項を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

< 製造販売業者 >

株式会社メニコン

< 販売業者 >

株式会社メニコン

メニコンお客様センター 0120-103109

受付時間/9:00～18:00

(日・祝日除く)